

企画した大学生とアーケードになるパラソルに絵を描く園児(14日、松井ヶ丘幼稚園)



発行所
株式会社 洛南タイムス社
宇治市宇治一番26番地
TEL (0774) 22-4109
FAX (0774) 20-1417
http://www.rakutai.jp
E-mail rakutai1954@gmail.com

パラソルで アーケードをうららら

京田辺 キララ商店街

産婦人科・小児科・内科・外科・整形外科・皮膚科
医療法人社団 一心会
TOKURA 都倉病院
訪問看護ステーションとくら
診療時間 午前9時～12時(産婦人科木曜のみ夜診)
午後3時～6時(午後5時～7時30分)
宇治市宇治山本27(京阪宇治駅東300m) ☎22-4521

商店街を「空から」明るくしてみてもは——近鉄新田辺駅東側のキララ商店街の路地にパラソルを吊るしてアーケードをつくるというユニークなアイデアが実現に向け動き出した。京田辺市にキャンパスがある同志社女子大の学生が発案。商店街や地元の幼稚園を巻き込んで、地域の活性化に「空から」挑む。

マーケティングなどを学ぶ同志社女子大情報メディア学科の学生たちが、授業の一環でバーチャルカンパニー(仮想企業)を立ち上げ、地域の活性化に取り組んでいる。このうち9人の学生が「parasola(ぱらそら)」という仮想企業を立ち上げ、同商店街の活性化策として提案した。

「社長」の川勝友加子さん(20)は、先月に商店街を訪れた時の印象を「暗くて静か。味気ない感じがした」と話す。社員たちはアーケードがない点に注目。「アーケードがあれば

ば雨でも、夏の暑い日でも子どもたちが集まって外で遊ぶことができる」「空からカラフルにして商店街や地域を明るくしてみても」と企画を練った。シャッターを閉めた店が目立つ商店街の通りに、子どもたちが絵を描いた透明なビニール傘を吊るして覆い、アーケードをつくる事業を思いついた。地域の幼稚園の協力を得て、現在「アーケード」を製作中だ。市立松井ヶ丘幼稚園(芹井利子園長)の園児たちが、学生や保護者とともに傘に絵を描いている。テーマは「花」。園児60人がアクリル絵の具を使って、カラフルで個性豊かな傘を次々と作り出している。この幼稚園は、商店街のある地域から離れた市北部の新興住宅地にある。ここにも、彼女たちと商店街の狙いがある。

中心部の新田辺駅周辺を訪れてもらい、身近な地域に関心を持つきっかけになれば」と期待を込める。芹井園長も「子どもたちが京田辺で育ち、地元役に立ったという思いが広がってくれれば」と話す。

完成した傘は来月9日(日)に、長さ約30センチ、幅約5センチの商店街の通りに吊るされ「アーケード」としてお目見えする。22日ごろまで約2週間の予定で設置される。

川勝さんは「学生のアイデアが、色々な人の協力で動き出したことに感動している。子どもたちが心を込めて描いてくれたパラソルが商店街の空を埋める日を楽しみに、当日まで走りきりたい」と意気込んでいる。

田原理事長も「商店街を空から変えるという発想は驚きで、今までになかった。きつと多くの人の心を動かすイベントになると期待している」と話している。

【小日向一】

女子大生アイデア

「空から明るく」

地元幼稚園が制作に協力

宇治市の 雨地園
松井ヶ丘幼稚園が制作に協力